南保育園のメダカの学校だより

８月号



H27.8.10

猛暑の中、メダカの学校ではいろいろな変化や発見、事件がつぎつぎに起こっています。



８／３ に餅米の花が咲きました。
水やりに行った子どもたちが、
「ワー！お米の実が出てきた」「ほんとだー」
「花だよぉ」　「エー　花？」
大人でも気づかずに見過ごしてしまいそうな稲の花ですが、子どもたちは、毎日水やりをしながら、しっかりと見ているんですね。
お田植えを教えてくれた小池さんが、そろそろ花が咲く頃だからと見に来てくれました。「花が咲いている時はいっぱい水をやるんだに」と、子どもたちに教えてくれました。
毎日、年長のみんながせっせと水やりをしています。



年長さんが作った『めだかのがっこう』の看板ができました。



新井さんからいただいたメダカの２世 11 匹が泳ぎ始めました。もうお腹に卵を抱えているメダカがいて びっくり！！

８月４日朝　大事件発生！

「たいへんだー！！」
「トカゲのしっぽが取れている」
「どうして取れちゃったの？」
「誰かがしっぽを切ったんじゃないの！」
「昨日の夜じゃないの！」
討論が始まりました。

討論の結果　　ご飯になる虫が少なかったのではないか、ということでみんなで虫取りを毎日頑張っています。

